

第57回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第3分科会	演題番号	311
題 名	リンパ球を用いた免疫染色による牛伝染性リンパ腫診断の有用性の検討		
所 属	食肉衛生検査所		
氏 名	○國井菜那子、杉山愛実、寺井克哉、塩崎康永、神田政宏		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>牛伝染性リンパ腫の診断においては、解体前の血液検査で、炎症による反応性の異型リンパ球と、腫瘍性（B細胞性）の異型リンパ球（以下、「B細胞」）との区別が難しい。</p> <p>そこで、増数したリンパ球がB細胞であるかどうかを判別するため、末梢血中リンパ球標本を用いた免疫染色（細胞増殖期マーカー：リンパ球ki-67）が、牛伝染性リンパ腫の診断の一助として有用か否かを検討した。</p> <p>今般、牛伝染性リンパ腫陽性牛と陰性牛を用いて、末梢血中リンパ球標本を用いた免疫染色と臓器のスタンプ免疫染色、PCR検査及び病理組織切片による免疫染色とを比較したところ、末梢血中リンパ球標本を用いた免疫染色とその他の検査結果が一致し、末梢血中リンパ球標本を用いた免疫染色が、牛伝染性リンパ腫の診断材料の一助となる有用性が示唆されたので、報告する。</p>		